



代表的な3つの面接の形式

公立高校入試や大学入試の推薦・総合型選抜では、面接が実施されることがあります。志望する高校・入試形式ではどのような面接が実施されるのか、あらかじめ調べて準備しておくことが大切です。面接の形式や、面接で評価されるポイントなどを確認しましょう。

代表的な3つの面接の形式

①個人面接

受験者1人に対して面接官が数人の形式です。時間は約10分程度です。志望理由書などの書類をもとに質問されることが多いので、志望理由書などの書類は提出する前にコピーをして、手元に控えを残しておきましょう。



②集団面接

受験者が数人で面接官も数人の形式です。時間も30分近くかかるようです。同じ質問を全員に聞くことも多いので、他の受験者の話をよく聞くことも重要です。突然「あなたの場合は？」と聞かれて受け答えがちぐはぐになることもあるので、面接官や受験者の様子を見て自分の答えを決めましょう。



③集団討論

受験者が数人でグループとなり、テーマを与えられてディスカッションを行う形式です。特に指導力・積極性・協調性がチェックされるようです。テーマに沿って自分の主張を論理的に話す態度が必要ですが、相手の意見を尊重することも大切です。

このほか、一般的な面接に加えて口頭試問を取り入れ、与えられた質問に対して短時間で論理的に説明することを求められるものや、面接に入る前に課題が与えられ、黒板やホワイトボードを使って説明する面接方法をとる学校もあります。

【よくある質問の例】

面接ではいろいろな質問がありますが、「志望理由」は必ず聞かれます。その学校に行きたいと思った理由を具体的に、あなたの言葉で準備しておきましょう。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 志望理由 | <input type="checkbox"/> 高校に入学したらやりたいこと |
| <input type="checkbox"/> 高校卒業後の進路、将来の夢 | <input type="checkbox"/> 中学時代にがんばったこと |
| <input type="checkbox"/> 自分の長所、短所 | <input type="checkbox"/> 自己PR |



1月スケジュール

- 1月10日（水）北海道学力コンクール（中3以外）
- 1月11日（木）北海道学力コンクール（中3のみ）
- 1月27日（土）北海道学力コンクール（中3のみ）
- 1月29日～1月31日は1月1日～3日の振替授業があります。

↓過去の情熱通信はこちらから！



残りの時間

2024年3月5日。2024年度の公立高校学力検査の実施が予定されています。年が明け、2024年1月1日になると公立高校学力検査日まで残り64日となります。

単位を変換してみると、「残り64日」が「残り9週間」や「残り2ヶ月」といった言葉になり、印象が違ってくると思います。感じ方は人それぞれだと思いますが、週という単位だと短く感じる方が多いと思います。

では、9週間という時間の見方を変えてみます。定期テストの範囲が発表されてから対策を開始すると仮定すると、1回の定期テストで2週間の学習時間。9週間ということとは4回分以上。つまり、1年間以上の学習ができます。残り64日を「もうこれしかない」という考えと「まだこれだけある」という両方の捉え方をしてみてもいいでしょうか。事実は1つでも捉え方は無限です。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 TEL 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

和風月名

1月は「睦月」和風月名(わふうげつめい)と呼ばれる月の和風の呼び名を使用していました。和風月名は旧暦の季節や行事に合わせたもので、現在の暦でも使用されることがあります。1月1日は元日(がんにじつ)です。1年の最初の日であり、国民の祝日でもあります。なお「旦(たん)」とは朝や夜明けを意味することから、元旦(がんだん)は元日の朝のことを指します。元日と同じ意味で使うこともありますが、1月1日の朝を指すときは「元旦」、1月1日の一日中を指すときは「元日」と使い分けましょう。1月1日には初詣(はつもうで)に行く方も多いのではないのでしょうか。初詣とは1年で最初に寺社に詣でることで、必ずしも1月1日に行く必要はなく、いつまでに行かなくてはならないという決まりもありません。しかし、あまり遅く行っても初詣の気分が出ないため、1日~3日の三が日をおすすめします。

釧路春採SC教室 安田 光則 TEL 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

楽しいってなんだろう

教室のコンセプトとして「楽しいと自立学習の両立！メリハリのある教室」というものを掲げているのですが、改めて「楽しいとはなんだろうか」と考える日々です。今年度はハロウィンにゲーム大会を催してみたり、クリスマス前後には〇〇〇や〇〇〇〇に扮する予定を立ててみたり(現在12/15、締切に追われております)と、いつも真面目(自称)な私には珍しく、funnyな楽しさも求めてみました。……参加した方・見てくれた方が楽しんでくれていたらな、と思う次第です。

一番知ってほしい楽しさは、塾なので当然「勉強って楽しい！」「問題が解けるのって面白い！」などです。「点数が上がっていくのが楽しい」もありますね。これからも、教室にいる全員にそういった楽しみも見つけてもらえるよう、全力でお手伝いさせていただきます！

当別教室 平山 由香利 TEL 0133-23-2228
〒061-0233 石狩郡当別町白樺町163-38 1F

2024年は辰年！

十二支の中で唯一架空の動物である辰(龍)ですが、何故辰が十二支に名を連ねているかについては諸説あり、そのうちの 하나가「龍という文字に鱧(ワニ)の意味もあったので、そもそもは龍ではなくワニを指していた」というものがあります。ワニと言えば有名な神話「因幡の白兔」に出てくる「ワニ」とは実は「サメ」のことであるという話もあります。辰年がワニ年では納まりが悪いので、龍が架空の存在であっても辰年のままが私には有難いです。そんな辰年ですが、天高くのぼる龍のように、辰年には「運気の上昇」「景気が上向き」などといった言い伝えもあるようです。また一方、今までの努力が実を結ぶ年でもあるようですので、これまで勉強という努力をしてきた成果を糧に一気に上昇気流に乗る、皆さんにとってそんな年になるように祈っています。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 TEL 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

情報過多の時代に

情報化の進展により、現代社会は情報過多の時代を迎えています。この状況下で、人々は膨大な情報の中からどの情報を信じればよいかかわらなくなり、意見を形成することが困難になっています。逆に、多すぎる情報に触れるのが億劫になり、一つの情報に固執してしまうこともあります。そんな時代に、健全な自意識を保つためには、ある程度の情報を調べた後、一度インターネットを閉じて自身の考えを書くことが有効です。自分自身から出てきた言葉は、情報の荒波における一つの錨として機能し、自身の意見を形成する一助になります。通常、学習においては、問題を解くことで学んだことを定着させます。しかし、情報過多の時代においては、情報源に対して全幅の信頼を寄せることができないため、上記のようなアウトプットによって、学んだ情報を自分自身で再構築することにも慣れておく必要があります。 中標津教室 堀 正太 TEL 0153-74-0900
〒086-1007 標津郡中標津町東七条南7-8 2F

ミスの大連発！

本年度の宅建士試験に合格しました。行きがかり上、受験生になり(情熱通信2023年5月号参照)9月が本試験でした。過去問15年分を消化し、8割得点(50点満点)はクリアできたので、「大体は仕上がった」と思っていました。本番でミスを大連発！「誤っているものの組み合わせを選びなさい」という指示なのに正しいものを選択。文章の読み違い。極めつけにはマークミス。「絶対にやってはいけないミス」のラッシュで、まさかの4失点。「正誤問題は選択肢に○×を書き、別の場所に、選ぶのは【正】(OK)なのか【誤】(NG)なのかをメモしておく」「読み飛ばさない。転記ミスをしない」とか偉そうなことを言い続けてきた自分が…。自己採点終了後、本気で「認知症検査を受けようか？」などと思った次第です。まさに薄氷を踏む思いでの合格でした(苦笑)。

株式会社 情熱空間
代表取締役 三木 克敏